

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践の報告
- (2) 情報交換，情報提供による学習
- (3) 授業提案による研究（統一授業研）

2 研究経過

5月 6日	テーマ，研究内容決定
5月18日	情報交換，研究計画
6月 1日	実践報告
6月22日	実践報告，資料提供，指導案検討
8月 1日	指導案検討，臨地研修「わだつみ文庫」（甲州市），
8月31日	研究授業
9月28日	研教研リポート検討，実践報告
11月24日	実践報告，指導案検討，授業案検討，県教研環流報告
1月25日	研究授業
2月15日	実践報告，研究のまとめ

II 成果と課題

1 成果

- ・ 一人一実践という形で，いろいろな実践を聞くことができたので，自分の考えの幅が広がった。
- ・ 実践発表を聞くことで，普段の授業を考えさせられ，実際に自分の学級でも実践したりすることができた。
- ・ ブロックのテーマが広いので様々な角度から人権をとらえられ，自分自身の視野を広げることができた。
- ・ 研究授業を2回行うことで，研究テーマに迫る検証ができた。いろいろな視点から考えることができた。
- ・ 2本の研究授業では，事前に何回か検討をしていたので，見通しを持って授業を参観することができた。

2 課題

- ・ 部会内だけでとどめておくにはもったいない実践や情報が多かったので，何らかの形で外に広げていけないものだろうか。

- ・ 自立と共生の視点も踏まえた実践も研究の内容に入れてきたが、今後さらに充実させていくこと。
- ・ 人権を広くとらえていて良い反面、もう少し絞って研究をしても良いのではないか…。人権意識の共通理解や共通認識といったことをしながら。

Ⅲ 成果物

1 指導案

- ・ 2年道徳学習指導案「こころをつなぐあいさつ」山宮由紀（日下部小）
◇ねらい：あいさつを交わすことの気持ちよさに気付き、身近な人々と、よりよい関係を気付くために、自分から進んであいさつをし明るく接しようとする心情を育てる。
- ・ 2年学級活動指導案「『正しいこと』について考えよう」甘利志賀峰（祝小）
◇ねらい：自分たちの生活を見つめ直して、正しいことはどれか、考える。

2 実践報告資料

- ・ 人権教育実践「こんな友だちが大切～友だちピラミッド～」廣瀬 剛（日下部小）
- ・ 人権教育実践「ひとことの大切さ」岩下城（牧一小）
- ・ 国際連帯実践「アメリカの交流生との5週間」岡ひさ江（菱山小）
- ・ 平和教育実践「命の大切さ」三森公仁（塩山南小）
- ・ 国際連帯実践「世界へのドアを開いてみよう」高添 勉（菱山小）
- ・ 人権教育実践「お年寄りとの交流」前島国学（菱山小）
- ・ 人権教育実践「みんなだいすき」Ⅱ利志賀峰（祝小）
- ・ 人権教育実践「ドリームマップ」雨宮由縁（井尻小）
- ・ 人権教育実践「人間コピー～ハッピー言葉を見つけよう～」鶴田さつき（八幡小）
- ・ 人権教育実践「無償の愛」太田一美（日川小）
- ・ 平和教育実践「一つの花」檜垣貴子（祝小）
- ・ 人権教育実践「自分の気持ちに気づこう！」阿部かおり（井尻小）
- ・ 人権教育実践「自分への手紙」保坂千恵子（日下部小）
- ・ 人権教育実践「自分の気持ちを受け止めてもらおう」甘利志賀峰（祝小）

3 提供資料

- ・ 平和教育資料「平和への願い 6.23 沖縄 慰霊の日」樋口美根夫（八幡小）
- ・ 人権教育資料「震災に関する子どもや学校のサポート」太田一美（日川小）
- ・ 平和教育資料「太平洋戦争はなぜ起こったか」古屋三千雄（祝小）

（部長 三森公仁）